

書店大商談会開催	1
サロンドリーブル・ジュネス 出展募集中	1
シンポジウム「図書館とまちづくり」開催	2
お知らせ	3

東京・北海道「書店大商談会」 大阪「BOOK EXPO 2017」開催

■第4回「北海道書店大商談会」

「北海道書店大商談会」（主催：同実行委員会・中尾邦幸委員長・マル五中尾書店）は、9月5日（火）の午前10時から午後4時の日程で、札幌パークホテルにて開催される。

今年も参加書店が選ぶ「北海道ゆかりの本大賞」を実施し、魅力的なイベントを企画。また、前日にトーハン会、当日に日販会を開き、書店・出版社ともに参加しやすい日程としている。

【参考 前回第3回】

出展社107社106ブース、来場書店203名
商談成立826件、総額16,441,273円

■第8回「書店大商談会」（東京）

「書店大商談会」（主催：同実行委員会・矢幡秀治委員長・真光書店）は、書店による書店のための商談会を目的に、企画・実施し、帳合の域を超えた積極的な仕入れの場として、年々規模を拡大している。第8回の今年は商談成立1億円（本体価格で統一）、出展社250ブース、来場者書店人数1,000名以上を目標に、10月26日（木）の午前11時から午後5時半の日程で東京ドーム・プリズムホールにて開催される。

商談は商品の現物を見ながら行なわれる。また既刊本のPRや人気作家のサイン本ブースを設置するなど、魅力的な商談イベントとなる予定だ。

今年は会場内の動線を工夫し、昨年を上回る成果を目指している。

【参考 前回第7回】

出展社237社250ブース、来場書店973名
成立商談4,904件、総額105,880,924円

■大阪「BOOK EXPO 2017」

「BOOK EXPO 2017 秋の陣～響け！書店心～」

（主催：同実行委員会・洞本昌哉委員長・ふたば書房）は、11月7日（火）午前10時30分から午後6時の日程（開会セレモニー10時10分開催）で、グランフロント大阪・コングレコンベンションセンターにて開催し、230ブースの出展を目指している。今年も商談とともに楽しめるイベントを企画。また、OsakaBookOneProject等の特別ブース設置、人気絵本作家tupera tuperaさんのサイン会・トークイベントも実施する。

【参考 前回2016】

出展社233社237ブース、来場書店1,043名
商談成立5,831件、総額98,007,713円

出展申込は出版文化産業振興財団（JPIC）ホームページで受け付ける。<http://www.jplic.or.jp>
申込締切は、北海道：5月31日、東京：6月26日、大阪：6月23日。

（問合せ JPIC TEL 03-5211-7282）

フランス児童書ブックフェア 出展募集中

（一社）日本書籍出版協会は、同協会会員社の児童書出版社有志からの要望を受け、本年11月29日（水）～12月4日（月）にフランス・モントルイユにおいて開催される児童書ブックフェア“サロンドリーブル・ジュネス”（Salon du livre et de la presse jeunesse 2017）への共同ブース出展を呼びかけている。対象は主に児童書の出版社（会員外を含む）。

同ブックフェアは1985年から開催し、今年で33回目を迎える。会期中は、パリおよび近郊から約16万人が来場する。学校単位・クラス単位で会場を訪れる児童生徒も3万人を超え、著名な児童書

作家やイラストレーター200名による約400ものワークショップ・イベント等が行なわれる。

近年は児童書の出版社同士の著作権交渉の場としての役割も少しずつ高まっており、今年からはライセンスセンター（商談スペース、要予約）を新設し、著作権取引にも力を入れていこうとしている。また、著作権交渉のための事前のマッチングを希望する場合、当協会からエージェントの紹介等も可能。日本の出版物への関心が高いフランスにおいて、読者向けに日本の児童書コンテンツを広くPRする場として活用することも期待される。

今回、共同ブースとして出展することで、費用および運営について分担し、多くの社が参加しやすく個社の負担を軽減することを目指している。ブースレイアウト、運営、費用等については今後参加出版社によって検討する予定。

その他、サロンドリーブル・ジュネスおよびパリの出版社、書店を訪問するフランス出版事情視察ツアー（11月28日～12月3日）も行なう予定である。共同ブースへの出展をせずにツアーのみの参加申込も可能。

◆サロンドリーブル・ジュネス開催概要

開催日時：2017年11月29日(水)～12月4日(月)

会場：モントルイユ市（パリ中心部より30分）

主催者：Centre de promotion du livre de jeunesse Seine Saint Denis協会、文化通信省、モントルイユ市、Seine Saint Denis県等

出展者数：440社：国内(約9割)、海外(約1割)

来場者数：約162,000人（2016年実績）

☆出展および視察ツアーの詳細・申込については、<http://www.jbpa.or.jp/> より。

【ご参考】

○昨年のサロンドリーブル・ジュネス

(仏語)

<http://slpj.fr/sens-dessus-dessous-2/>

(海外向け英語版)

<http://slpj.fr/foreign-visitors/>

※2017年詳細については未公開。随時更新予定。

(問合せ 書協 TEL 03-3268-1303)

シンポジウム「図書館とまちづくり」

7月5日に開催

(公社)日本図書館協会(=日図協)は、(一社)日本書籍出版協会の協力のもと、シンポジウム「**図書館とまちづくり**」を7月5日(水)に千代田区立日比谷図書文化館にて開催する。日図協が昨年実施した調査の結果、全国の500近い自治体で、公立図書館が地域の人々や自治体と連携して地域創生、地域活性化、まちづくり等の事業が展開されていることが分かり、自治体関係者を含めた多くの方々にこれを広く周知し、地域に根ざした図書館の一層の発展を図るために本シンポジウムを実施することになった。社会における知的環境の土台である図書館の活動とその可能性について、地方の首長、図書館関係者らを含む4名の識者が議論する。開催概要は以下の通り。

日時：2017年7月5日(水) 午後6:30～8:30

場所：千代田区立日比谷図書文化館大ホール

定員：200人(先着順) / 参加費500円

パネリスト：河野俊嗣(宮崎県知事)、西井淳(読売新聞本社論説委員)、森茜(日本図書館協会理事長) / コーディネーター・猪谷千香(文筆家)

詳細は、<http://www.jla.or.jp>

(問合せ 日本図書館協会 TEL 03-3523-0811)

英文出版業界解説冊子 発行

AN INTRODUCTION TO PUBLISHING IN JAPAN

日本書籍出版協会では、日本の出版界について英文で紹介するAn Introduction to Publishing in Japan 2017-2018(定価：1,500円+税(会員頒価：1,200円(税込)・93頁)をこの度発行いたしました。本書は、主に海外の業界関係者向けに制作していますが、海外との著作権交渉、海外ブックフェアでの商談等に出向く日本の担当者にとっても、海外の方々に日本の出版の概要を紹介するのにも役立つ1冊となっています。海外のお取引先に差し上げたり、日本の出版業界を英語で説明する際などにもご活用いただけます。



【注文方法】

メール：info@jbpa.or.jp 宛に、社名・部署名／お名前／送付先住所／購入希望冊数をメール本文にご記入いただき、件名を「英文冊子注文」と明記の上、ご注文ください。

Web：書協刊行物ご注文フォーム

<http://www.jbpa.or.jp/publication/order.html>

An Introduction to Publishing in Japan 2017-2018 (目次)

1. Outline of the Publishing Industry in Japan
 2. Trends in the sales volume of publication and changing distribution
 3. The Exportation and Copyright Sales of Japanese Contents
 4. Percentage of Book reading and Reading promotion
 5. Library in Japan
 6. Legal Environment of Publishing Industry
 7. Japan Book Publishers Association (JBPA)
- Appendix 1
Publishing related Associations and Organizations
- Appendix 2
List of Members of Japan Book Publishers Association

書協紹介コラム

委員会

前回は、書協の主要な活動を紹介します。その中でも最も重要な活動として、出版業界が発展し、健全な出版活動の継続を支援するために、必要に応じてガイドラインの策定や、法改正などに伴う関係省庁・行政への対応、連絡、協力、また、書籍のデータベースの構築、読者に関わる書誌情報の提供などが、書協の主な活動と紹介しました。

そして今回は、その活動を担っている委員会とその主な活動を紹介します。

委員会

流通委員会、生産委員会、研修事業委員会、出版経理委員会、知的財産権委員会、読書推進委員会、図書館委員会、出版の自由と責任に関する委員会、国語問題委員会、国際委員会、人事・総務委員会、書籍データベース委員会、近刊図書情報小委員会、TIBF委員会以上、14の委員会が現在書協内に設置されている委

員会です。出版界をめぐる状況の変化や、法改正、業界を挙げて実施する事業などがある場合に、適宜、関連する委員会を開催し、委員会内で、様々な議論、検討を重ね、その時々々の要請や必要な活動等に対応しています。これらの委員会の概要と、最近の主な活動を紹介します。

◆**流通委員会**：取次協会を中心とした他団体との連携を通じて再販制度の現状把握・制度の弾力的運用・出版物の流通改善に関する活動を進め、毎年「出版再販・流通白書」の発行を行っています。また、再販制度の弾力運用の一環として、ネットでの期間限定謝恩価格本フェアを実施しています。

◆**生産委員会**：出版物の製作にかかわる用紙・印刷・製本など出版物の製作に関する諸問題につき検討し、研修会や情報共有を行っています。今年、「2016年書籍の出版企画・製作等に関する実態調査」を発行しました。

◆**研修事業委員会**：会員・非会員に向けたセミナーや研修を開催しています。最近では、「出版業界の新入社員研修会」を4月に開催し、約80名が参加し、編集・出版営業・書店・電子書籍の講座、作家の講演（今年には阿刀田高先生）、取次会社見学という2日間の研修会を行いました。そのほかにも、著作権実務講座、下請法講座等を行っています。また、新たな試みとして、書協会員限定の出版ミニセミナーを開催し、図書館へのマーケティング、書店の経営戦略事例、海外版權ビジネスの可能性、電子書籍事例セミナーなどをテーマに、特定の分野へのアプローチ経験のない出版社にも活用いただけるセミナーを実施しています。また、若手を対象にしたセミナーでは、芥川賞を受賞した『火花』の担当編集者を招いたワークショップ等を開催しました。

◆**出版経理委員会**：毎年雑誌協会と合同で、国税局の方を招いて、出版業務の税務研修会を開催しています。また、出版税務会計の留意点をまとめた「出版税務会計の要点」を刊行しております。

来月号も引き続き、書協の委員会活動の紹介（第2弾）を掲載いたします。是非お読みください。（続）

書協入会のご案内

日本書籍出版協会では、新規会員・準会員を募集しています。会員社による新規会員の紹介については、ご紹介いただいた会員社への特典もございます。詳細のお問い合わせは以下まで。

書協・総務部 TEL 03-3268-1302 E-mail info@jbpa.or.jp

出 版 統 計

書 籍	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書 籍 出 回 り	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比
新 刊 点 数	6,832 点	99.1	24,275 点	94.7	推 定 出 回 部 数	7,446万冊	90.2	36,612万冊	94.1
新刊推定発行部数	2,588万冊	97.4	10,489万冊	96.8	推 定 出 回 金 額	849億円	91.4	4,277億円	96.0
新刊平均価格	1,173 円	100.9	1,180 円	100.0	推定出回平均価格	1,140 円	101.3	1,168 円	102.0
新刊推定発行金額	304億円	98.3	1,238億円	96.9	実 売 部 数	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比
月 刊 誌	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書 籍	4,602万冊	88.8	23,785万冊	94.0
発 行 銘 柄 数	2,231 点	97.4	2,728 点	97.0	月 刊 誌	7,670万冊	85.4	30,198万冊	89.6
推 定 発 行 部 数	13,921万冊	90.8	52,570万冊	92.6	週 刊 誌	2,927万冊	87.5	11,970万冊	89.6
平 均 価 格	625 円	101.8	638 円	101.6	実 売 金 額	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比
推 定 発 行 金 額	870億円	92.5	3,356億円	94.2	書 籍	551億円	90.0	2,937億円	96.0
週 刊 誌	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	月 刊 誌	466億円	87.7	1,895億円	91.6
発 行 銘 柄 数	76 点	102.7	78 点	101.3	週 刊 誌	104億円	89.9	418億円	90.3
推 定 発 行 部 数	4,759万冊	91.2	18,928万冊	92.4	実 売 金 額 合 計	1,121億円	89.1	5,251億円	93.9
平 均 価 格	366 円	102.5	359 円	101.1					
推 定 発 行 金 額	174億円	93.6	680億円	93.6					

- 銘 柄 数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
 - 部 数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したのもの。
 - 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
 - 金 額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額
- [提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

4月21日～6月21日 **期間限定 謝恩価格本ネット販売**

フェア <http://www.bargainbook.jp>

7月18日～10月1日 日比谷図書文化館特別研究室企画展

触れて発見！時代で比べるブックデザイン展

「造本装幀コンクール」受賞作品×内田嘉吉文庫

8月25日～ 2018年3月19日 (内8日間) 本と出版業界

の全てを学ぶ「JPIC読書アドバイザー養成講座」25

期、受講生の募集 ※応募締切：6月27日必着

監修・専任講師にフリーライターの永江朗氏を迎え、出版社・書店員・販売会社・図書館関係者・一般を対象に、本の歴史、電子書籍、出版流通、編集、装丁、書店、図書館をはじめとする「本」と「読書」に関するすべてを学ぶ。それぞれの分野の第一線で活躍する講師がテーマごとに講座を担当。製本実習や書評講座、書店見学ツアー等のオプションも充実。講座修了後は「JPIC読書アドバイザー」として仕事等に役立てることを目指す。

<http://www.jpica.or.jp/learn/advice/>

編集後記

造本装幀コンクールを読者の人にも広く知っていただくため、Instagramを始めました。いまだガラケーの私にはハードルの高いお仕事です。「bookdesign_jp」ぜひ「いいね」してください。(あ)

段々と太陽の日差しが強まり、夏の足音が近づいてきましたね。私にとっては、海、山、川でのアクティビティが楽しみな季節ですが、目的地までの長い移動時間中のゆったり読書もひそかな楽しみ。今年の夏は、どんな本に出合えるかワクワクしています。(吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL：03-3268-1301

FAX：03-3268-1196

書協Web サイトもご覧ください

<http://www.jpba.or.jp>